

● 有明フェリー長洲港ターミナル

## NAGASU HARBOUR FERRY TERMINAL

熊本の西の玄関口として年間200万人以上が利用する  
長崎県多比良港との間を就航する  
有明フェリーのターミナル。  
老朽化したため、敷地の整備と共に建て替えられた。  
乗船客の快適な待合い所としての  
ターミナル本来の目的のほかに、  
地域住民に日常的に親しまれる  
施設となることを期待している。  
フェリー着岸側には大きな開口部を有している。  
昼間は明るい室内を確保し、  
夜間はライトアップによって一層の際立ちを見せる。

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県

くまもとアートポリス事務局  
熊本県建築課 〒862-0570 熊本中央区水前寺6-18-1  
☎096-333-2537

熊本への旅人を招き入れ、  
長崎への旅人を送り出すように、  
建物は対岸の雲仙に向かうように  
配置されている。





● 建築概要

人・車・モノの流れを妨げることなく人々が出会い、休息できる開放的なターミナルである。フェリーの着岸形式に合わせて建物を護岸と平行に細長く配置し、周辺を隣接する公園と一体となるよう緑化している。事務・管理施設を2層分の高さまで持ち上げ、その下を開放し1階のコンコース（待合所）と2階のボーディングブリッジ（連絡橋）を納めることでスムーズな乗下船を可能としている。コンコースにはギフトショップ、スタンドカフェ、エレベーターなどのサービス施設が設けられ、ここから直接屋上へもアクセス可能である。屋上の展望デッキからは対岸の雲仙・普賢岳をはじめ有明海の雄大な自然がパノラマ的に眺望できる。



● 建築家プロフィール

石田 敏明 (いしだ としあき)

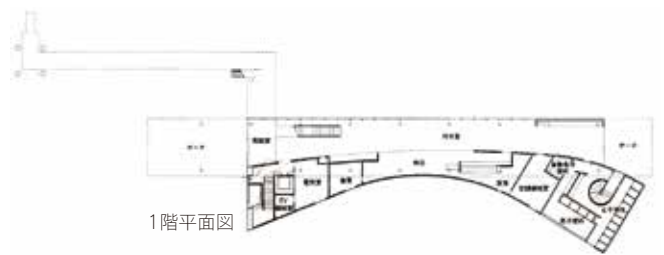
- 1950年 広島県生まれ
- 1973年 広島工業大学建築学科卒業
- 1973年 伊東豊雄建築設計事務所勤務
- 1982年 石田敏明建築設計事務所設立
- 現在、日本大学、広島工業大学非常勤講師

● 主な作品

- 浦崎の家、茅ヶ崎の家、網島の家、富士裾野の山荘、NOSハウス、F4、SUZハウス ほか
- 1987年 住宅建築賞
- 1991年 鹿島賞
- 1996年 吉岡賞

● 建築データ

名称/有明フェリー長洲港ターミナル  
 所在地/玉名郡長洲町大字長洲2168-25  
 主要用途/待合所  
 事業主体/有明海自動車航送船組合  
 設計者/石田敏明  
 施工者/岩下建設  
 敷地面積/3,978㎡  
 建築面積/586㎡  
 延面積/976㎡  
 階数/地上3階  
 外部仕上 屋根/コンクリート金ごて押え+  
 アスファルト防水  
 外壁/セメント中空成形板+  
 ウレタン塗装、フッソ樹脂焼付鋼板  
 施工期間/1995年10月~1996年3月  
 総工事費/348百万円



構造アクソメトリック

PHOTO/石丸捷一